

ふかがわ 社協だより

令和6年

2月

第133号



CONTENTS

新年のごあいさつ	2
トピックス・お知らせ	3
生活支援コーディネーター通信	6
教養講座に参加しませんか!	7
児童センター通信	8

表紙 子どもキッチンくらぶ

(11月15日/働く婦人の家)

この日は、児童センターに通う小学生が、クラブの会員に教わりながら、一緒におやつづくりを楽しみました。

特 地域の活動紹介
お互いさまの地域づくり

集 さまざまな場面で活躍!
生活介護支援サポーター 4-5

編集・発行

社会福祉法人 深川市社会福祉協議会

深川市3条18番36号 総合福祉センター内

電話 26-2411 FAX 22-1443

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています



新年のごあいさつ

社会福祉法人深川市社会福祉協議会

会長 三ツ井 隆 博



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、日頃より社会福祉協議会の運営並びに各種の地域福祉活動やボランティア活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化・人口減少が加速している中、さまざまな影響が表出しています。これまで当たり前だったことが出来なくなっています。

昨年、北海道新聞の「介護難民時代」という連載記事で、人手不足と経営難で介護事業所の閉鎖が道内で相次ぎ、サービスが利用できない「介護難民」が発生しているとの報道がありました。社会福祉協議会が運営する事業所も二〇一八年以降、六つの市町村で廃止されています。

本協議会も他人事ではありません。深川・北空知においても介護・福祉人材は慢性的な人手不足に陥っており、職員確保に大変苦慮しております。訪問介護員、介護支援専門員、児童厚生員を募集していますが、応募がありません。職員の大半が五十代、六十代ですので、このままでは五年後、十年後のサービス提供が困難になるかもしれません。深川市はもとより北空知広域で対策に取り組む必要があります。

また、本協議会の経営も大変厳しい状況にあります。一昨年から続く物価の高騰や法定福利費の引き上げなどで事務事業費や人件費が増加していますが、人口減により会費・寄付金収入は漸減しており、収入の大半を占める介護報酬や補助金・委託料の引き上げは小幅で経費増に見合うものになっていません。経営改善には不断の取り組みが必要であります。

先行き不透明で不確実な時代の中、コロナ禍での疲弊や生活様式の変化もあり、人間関係の希薄化、社会的孤立や生活困窮介護や子育てに対する不安など、地域の福祉課題が複雑・多様化しております。

こうした課題に対して、地域の皆様と一緒に考えながら解決に向けて取り組むことが地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会の役割であります。

本協議会では、昨年三月に「地域福祉実践計画」および「経営改善計画」を策定しましたが、ベテラン職員の相次ぐ退職などの問題が生じ、職員体制や業務の再構築に迫られ、計画どおり実践することができませんでした。

今年、「市民に信頼される持続可能な法人運営の基盤づくり」を進めながら、計画の基本理念である「お互いさまの心や気持ちがつながるまちづくり」の実現に向け、役員一丸となって取り組んでいく考えでありますので、市民の皆様には、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、この一年が市民の皆様にとって幸多き年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



寄贈

(株)ダイナム様、北海道コカ・コーラボトリング(株)様より 飲食品が寄贈され配付しました! ありがとうございます



(株)ダイナム様からの寄贈



北海道コカ・コーラボトリング(株)様からの寄贈

昨年8月「(株)ダイナム」様より、『福祉活動に役立てていただきたい』と食品の寄贈があり、さらに12月には「北海道コカ・コーラボトリング(株)」様より、『クリスマスプレゼント』として同社製品の飲料水の寄贈がありました。

社会福祉協議会では、すべての寄贈品を市内で運営している障がい者関連施設3カ所へ寄贈の趣旨をお伝えしてお届けしました。

お知らせ



福祉機器・A V機器・レクリエーション用品等を 貸し出しています

社会福祉協議会では、ケガや急病などにより福祉機器等が必要な方への貸し出し、地域の活動に必要なA V機器やレクリエーション用品等を無料でお貸ししております。貸し出しには一定の要件がありますので、詳しくはお問合せください。

福祉機器

- ・車いす
- ・特殊寝台(電動ベッド)
- ・ポータブルトイレ
- ・歩行器
- ・シャワーチェア など



A V機器

- ・プロジェクター
- ・DVDプレーヤー
- ・スクリーン
- ・拡声器
- ・マイク



レクリエーション用品

- ・わたあめ機
- ・ポップコーン機
- ・かき氷機
- ・輪投げ
- ・ビンゴゲーム
- ・ミニボウリング
- ・射的ゲーム
- ・スカットボール
- ・ゲーゴルゲーム
- ・開運お手玉ボード



生活介護 支援サポーター のしくみ

生活の中にある「ちょっとした困りごと」...
そこに住む人達の支え合いが暮らしをサポートします

担当のケアマネジャー等がいる場合には、担当者を通じてお申し込みください。活動状況によっては対応できない場合がありますので、予めご了承ください。



ほかにも....

- 家族(介護者)が不在中の話し相手や見守り
- 訪問や電話等による定期的な安否確認
- スマホやパソコンの操作方法の簡単なお手伝い
- 郵便物の確認や簡単な手続きのアドバイス

通院・外出の付添い



室内の片付け



高い所の作業



お知らせ

この活動は特に専門的な知識は必要ありません。日頃の生活から培った経験を活かせる活動です。その活動が、支援を必要としている方の暮らしに役立ち、お互いさまの地域づくりにつながります。

生活介護支援サポーターとして登録いただくため、養成講座の受講をお願いしています。また、実際に活動していただいている方、養成講座を修了された方を対象に、フォローアップ研修も実施しています。ぜひお気軽にご参加ください。

ついでのお手伝い



家周りの簡単な作業



粗大ごみの搬出



あけぼの地区で2つのサロン誕生!!

今年度、あけぼの地区で新たに2つの集いの場が誕生しました。その活動の様子などを、生活支援コーディネーターが取材させていただきましたので、ご紹介します。



気軽に集まれる場所で
楽しい時間を過ごしながら
健康維持を目指す

スマイルカフェinあけぼの

コロナ禍で自宅にこもりがちになるなか、「誰とも話さずに1日が過ぎるくらいなら、営業時間外の日中にお店に集まってもらうことで住民同士が交流できれば」と願い、地域住民の交流の場として始まりました。普段は茶話会が中心ですが、ボッチャやビンゴ大会も行います。

- 設立 令和5年7月1日
- 参加者 近所の方、参加を希望される方
- 開催日 第3金曜日13:30~15:30
- 場所 あけぼの焼肉ふかがわ



昨年11月には初めてタクシー買い物ツアーを開催



参加者6名と2名のボランティアで買い物を楽しみました



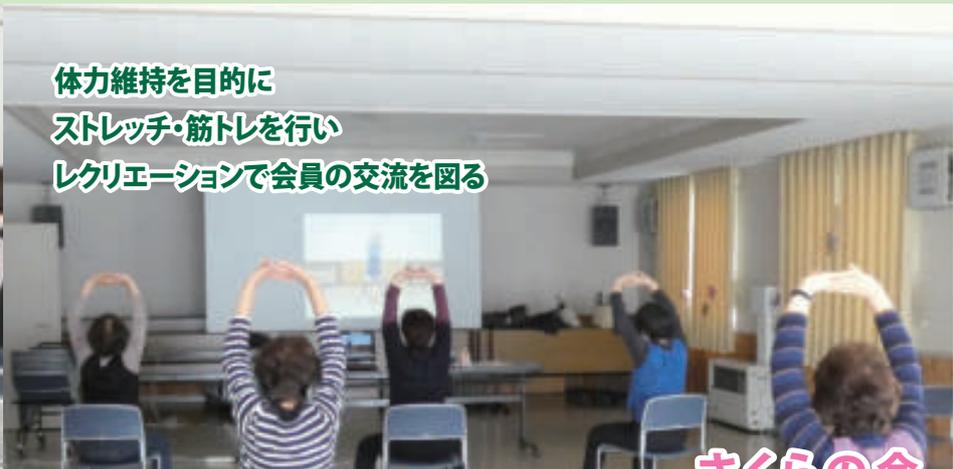
体操の後はおしるこを食べながらみんなでおしゃべり



気になるノート

会話のなかで“気になったこと”を書き留めておこうと、今年から「気になるノート・さくらの会」を始めました。今年初めての“気になったこと”は何だったんでしょう？

体力維持を目的に
ストレッチ・筋トレを行い
レクリエーションで会員の交流を図る



さくらの会

あけぼの地区の「健寿OB会」（市の介護予防教室「健寿教室」のOB）の方々が中心となり設立されたサロンです。毎週、体力の維持を目標に、介護予防教室で学んだ体操を継続しながら参加者同士の交流も楽しんでいます。

- 設立 令和5年7月18日
- 参加者 会の趣旨に賛同する方
- 開催日 毎週水曜日10:00~12:00
- 場所 あけぼのコミュニティセンター

教養講座に参加しませんか!

総合福祉センターでは、生活に役立つ様々な講座を開催しています。
本年度開催している講座と、これから予定している講座を紹介します。



●教養講座の様子

「相続人と相続分・相続登記義務化」

講師 旭川地方法務局登記部門 大西法務事務官

・日 時 令和5年12月15日(金)午後1時30分～3時

・参加者 38名

スマホ初心者向け 体験教室

ソフトバンク株式会社による体験教室

- ・ガラケーとスマホ、AndroidとiPhoneの違い
- ・基本操作やマップ、カメラ等、人気アプリの体験



- ▶ 日 時 2月17日(土) 午後1時～3時
- ▶ 場 所 総合福祉センター
- ▶ 定 員 15名(先着順)
- ▶ 講 師 ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー
- ▶ 参加料 無 料
- ▶ 申込期限 2月9日(金)
- ▶ その他 スマホは講師が用意します

小学生も大人も 「おなかげんき教室」

ヤクルトの出前講座を利用した
「クッキング」と「健康講座」

- ①クッキング「ヤクルトムース」
- ②健康講座(①を冷やしている間)
 - ・小学生講座「おなかげんき教室」
 - ・大人向け講座「生活習慣病を予防する食生活」



- ▶ 日 時 3月9日(土) 午後1時～3時
- ▶ 場 所 総合福祉センター
- ▶ 定 員 小学生30名(先着順) 大人30名(先着順)
- ▶ 講 師 ヤクルト栄養士
- ▶ 参加料 小学生 無 料 大人 100円(材料費)
- ▶ 申込期限 2月29日(木)
- ▶ その他 クッキングだけの参加は不可

特殊詐欺等・悪質訪問販売 予防対策講演 withマジックショー

マジック歴38年の元北海道警察官がマジックを織り交ぜながら、特殊詐欺や悪質訪問販売等の予防対策についてお話しする楽しい講演



- ▶ 日 時 3月21日(木) 午後1時30分～3時
- ▶ 場 所 総合福祉センター
- ▶ 定 員 50名(先着順)
- ▶ 講 師 元北海道警察官 西垣 様
- ▶ 参加料 無 料
- ▶ 申込期限 3月8日(金)



クリスマス行事



児童センターでは、児童厚生員が運動や工作レク等を企画・実施しており、年間を通して季節を感じることができる行事も取り入れております。いつも元気いっぱいの子どもの声聞こえてくる児童センターですが、今年は10月に一已中学校付近でのクマの目撃情報や、12月のインフルエンザ流行のための学校閉鎖などで子どもたちの声が少なく静かな日もありました。

そのような中、12月2日に恒例の季節行事である「年賀状作り」を実施しました。最近では、デジタルで年賀状を送るご家庭も増えていますが、子どもたちはおじいちゃん、おばあちゃん、いとこなどそれぞれ渡す相手をイメージしながら年賀状作りを楽しみ、個性あふれる素敵な作品が仕上がりました。創作していく中で自分の指や綿棒をスタンプ代わりに使うなど、発想力豊かな子どもたちには驚かされるばかりでした。

また、12月23日には、児童センター館内全体を使い『ビンカン選手権クリスマスバージョン』を実施しました。前半は、館内に設置されているイラストや文字の間違いに制限時間内に気が付くことができるか参加者に挑戦してもらいました。後半は、有志の小学生によるハンドベル演奏2曲と中学生によるエレクトーン演奏を行っていただきました。地域で生活されているたくさんの幼児・保護者、小学生が参加したほか、中学生ボランティアの協力もあり、クリスマス行事の楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

児童センターは地域で過ごされている0歳から18歳までの方が利用でき、健全な遊びを通して健やかな体と豊かな心を育むことを目的とした施設です。ぜひ遊びに来てください。

開館：月曜日から土曜日
午前9時から午後5時まで
(日曜日と祝日は休館)
※幼児は保護者同伴

今年も素敵な一年になりますように



お正月行事